



議会だより な お し ま

2015 No.173
平成27年10月9日

発行●香川県直島町議会
編集●議会広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)



イベントの華 優雅にそしてはげしく (直島アゲイン)

- 釣公園の入園者増加対策を(H26年度事務報告)・・・ 2P
- 濱田前町長を名誉町民に…………… 5P
- いじめ問題素直な対応を(町長・教育長報告) …… 6・7P
- 町民会館で芸能サミットを(一般質問)…………… 8・9P
- 町民会館の完成遅れる(委員会レポート) …… 10・11P
- 早く仕事を覚えたい(U・Iターン者に聞く) …… 12P

増加対策を

平成27年第4回定例会を9月9日から9月17日まで、9日間の会期で開催しました。

平成26年度の事務報告や、一般会計・特別会計および簡易水道事業会計の決算について慎重に審議し、全員賛成で認定しました。

一般質問では3人が町政を問いました。平成27年度の補正予算や条例制定など18議案・報告2件・議員提出議案1件をいずれも可決しました。

主な質疑

事務報告(抜粋)

企業収益の持ち直しなどにより、個人町民税や法人町民税が増となったことや償却資産に係る固定資産税が大きく増となり、歳入全体では昨年度を上回る結果となりました。

また、歳出全体に占める公債費の割合が高い水準で推移しているため、国・県と同様に厳しい財政状況となっていますが、町の将来を見据えて必要な事業を実施するため、離島振興法や辺地・過疎対策事業債など交付税措置がある有利な地方債の活用を図るとともに、国・県等からの支援を最大限に活用するなど、厳しいながらも健全な財政運営に努めました。

将来にわたって継続的な交流人口増加の鍵となる第3回目の瀬戸内国際芸術祭開催に向けた体制強化など「小さい島を大きく美しく実のなる島へ」を目標に、第4次直島町総合計画を着実に実行するため各種事業の推進に努力いたしました。

一般会計

◎歳入

町税が増となり、地方交付税が減となったが、町債の大幅な増により、対前年比34%増になりました。

◎歳出

町制施行60周年記念式典を開催し、タブレット型端末による本格運用を開始しました。

特別会計

●国民健康保険事業

平成30年度から運営主体が県へ移管することに決定しましたので、適正で安定的な運営を望みます。

●診療所事業

地域医療を恒久的に継続できる体制を整え、健全で安定した運営に努めます。

●釣公園事業

指定管理者制度による民間への管理委託を含め、健全な釣公園事業にするための検討が重要です。

住宅対策の今後は

Q (井下) 町営横防住宅が完成したが、今後の建設計画は。

A (町長) これまで宅地を取得し建設してきた。今後はニーズを調査し、宅地の造成などを含めて、計画的に進めていきたい。

子育て支援は

Q (丸山) いろいろな子育て支援を行っている。今後、保育料の補助を増やすなどの

対策は。

A (町長) できるだけのことはやりたいが財源もいる。今後、議会とも相談したい。

補助金の増額予定は

Q (小野) 高校生の通学航路費補助の増額予定は。

A (町長) 制度の創設当初は3割で現在は6割の負担をしている。子育て支援の面もあるので、今後検討したい。

入園者の増加対策は

Q (丸山) 釣公園の入園者が減少して

A (町長) アクセス道路の改良など考えられないか。

A (町長) 道路の拡幅などは考えていない。小型バスは運行しているが、改善を考えた

不燃物処分場の今後は

Q (浜口) 不燃物最終処分場の今後の見込みは。

A (町長) 土砂のみ

の持ち込みで活用すれば相当な年月使用可能になる。地権者の意向もあるが、今後どのような活用方法があるか検討

ホームページを立ち上げ

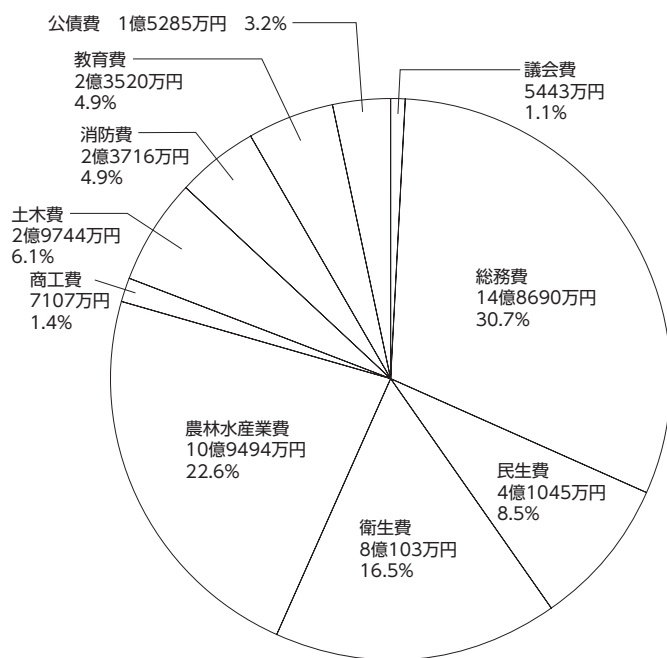
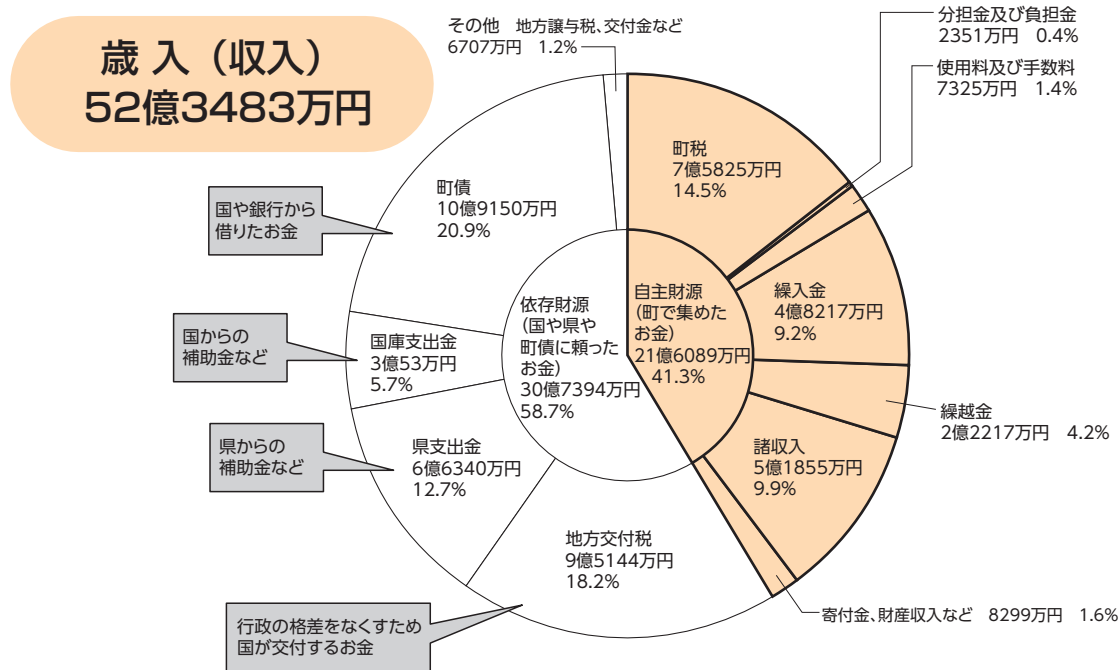
Q (中野) 空き家・空き地バンク事業の進捗状況は。

A (町長) 直島カラーズというホームページが公開され、その中に空き家・空き地バンクも公開されている。物件数は少ないが、今後充実させていく。

釣公園の入園者

平成26年度 一般会計決算（歳出）
48億4488万円を認定

平成26年度一般会計歳入歳出構成図



こんな事業に使いました

- 総 町営バス運行費
- 総 町民会館建設費
- 民 少子化対策費
- 衛 資源化施設整備
- 農 積浦漁港高潮対策
- 商 直島の火まつり
- 土 横防家族用住宅
- 消 デジタル防災行政無線施設整備
- 教 幼稚園耐震補強工事

(グラフの数字は万円単位にしていますので合計が一致しないことがあります)

平成26年度決算 主な質疑

一般会計

Q (小野) 火葬場は毎年相当の費用をかけて補修をしている。都市部では電気による火葬方式もある。改築をすることを考えはないか。

A (町長) 改築の時期が来ているとは思いますが、現状では補修しながら使っていきたい。

Q (小林) ナイター設備を年次計画で1基ずつでも改良し明るくしていけば、サッカー・野球も使いやすいとなると思うがどうか。

A (教育長) 検討したい。

Q (井下) つつじ太鼓や女文楽など町の団体助成金は長い間変わっていない。増額の要望は出ていないか。

A (教育次長) 教育委員会では聞いていない。

Q (丸山) ふるさと納税に対し、直島は、お礼をしていない。いろいろな特産品を贈り、多額のふるさと納税を得ている町もある。何か考えるべきではないか。

A (町長) 今年から寄付限度額も上がったので、観光協会のお土産を贈ったり、美術施設見学の割引や無料化などを考え、直島に来てお金を使ってもらうことを検討している。



ふるさと納税のお返しに

Q (石川) 企画費では、直島港ターミナルの設計委託料の細節が記載されていないが、

ナルの設計委託料の細節が記載されていないが、

特別会計

診療所事業

Q (小林) 町外の病院にかかっている人が、少しでもふれあい診療所に来てくれれば、収入も増えるし、国保等からも診療報酬が入るので、PRする努力が必要では。

A (事務長) 町外の病院へ行っている人が多数いることは聞いている。ふれあい診療所にかかっている人は、救急時等にも対応でき、メリットがある。広報誌等でお知らせしていく。

Q (西岡) レンタル釣具の整備が必要ではないか。

A (建設経済課長) きちっと対応していく。

Q (井下) 初めて来た人の釣果について調査しているのか。

A (建設経済課長) べてないので改善しているが、それ以外は調

A (建設経済課長) べてないので改善しているが、それ以外は調

監査報告

「公平公正のために徴収率を上げ、財源の確保を」

監査委員 岡田 英機
同 小野 孝一

平成26年度の一般会計・特別会計・簡易水道会計について審査した結果、会計経理は適正と認めた。

〔主な指摘事項〕

《一般会計》

税の徴収率は高水準だが、一部で滞納が見受けられる。将来を見据えた事業を、限られた財源で最大の効果を発揮するよう行財政運営を望む。

《特別会計》

(国民健康保険事業)

滞納額が前年より増えており、減少させるよう取り組みの強化をお願いする。また、医療費の適正化を図り健全運営に一層の努力を望む。

(診療所事業)

一般会計からの多額の繰入金で運営しているの、住民から信頼され、親しみのもてる診療所として経営努力し、健全な財政運営に努めるよう望む。

(釣公園事業)

施設環境及び利便性の向上を図りつつ、さらなる集客対策を模索し、健全経営に努めるよう望む。また、民間委託への移行等見直しも要望する。

討論

賛成 (丸山)

歳入それぞれの項目に収入未済額が多く見られる。できるだけ減らすよう努力されたい。

釣公園事業

Q (西岡) レンタル釣具の整備が必要ではないか。

A (建設経済課長) きちっと対応していく。

Q (井下) 初めて来た人の釣果について調査しているのか。

A (建設経済課長) べてないので改善しているが、それ以外は調

討論

診療所事業

賛成（井下）

サービス向上等で診療所に来てもらう努力を

し、繰入れを減らすよう要望する。

釣公園事業

賛成（井下）

積極的なPR活動で、集客に向けた改善を要望する。

名誉町民第5号に

前町長 濱田孝夫氏



平成11年4月に初当選、以来15年間在職されました。

その間、健全財政を維持し、住民福祉・教育・文化活動の充実を図り、豊島産廃の中間処理施設の受け入れや、瀬戸内国際芸術祭による観光振興など、町政の発展に多大な功績を残されたことにより名誉町民に選定することに同意しました。

平成27年度予算補正

一般会計

歳入

● 県支出金

1495万円追加

● 繰越金

3998万円追加

◎ 歳出の主なもの

● 選挙費

551万円減額

● 健やか子ども基金積立

1269万円追加

● 直島港ターミナル整備

4080万円追加

● 消防費

130万円追加

(主な質疑)

Q (小野) 健やか子ども基金事業で

1260万円の歳入であるが、複数年のものか。

A (会計管理者) 5

年間の事業で26年度に320万円入り、残りがまとめて入ってきた。

Q (松島) 直島港ターミナル整備の配置

平面図は最終案か。

A (建設経済課長) 最終案だ。

Q (石川) その整備

工事費の中に、解体費用も入っているか。

A (建設経済課長)

入っている。

特別会計

国民健康保険事業

◎ 歳出

● 返還金

250万円追加

簡易水道事業

◎ 支出

● 配水管移設工事

560万円追加



配水管移設場所

条例制定

直島町立幼保連携型

認定こども園条例

来々4月か

ら、現在の

「直島幼児学

園」から「直

島町立幼保連

携型認定こど

も園」に移行

するもので、

保育料・教育・

指導方針など

は従来どおり

です。



砂遊びは楽しいな

条例改正

個人情報保護条例の

一部改正

マイナンバー導入

マイナンバーを含む個人情報、厳格に保護する一部改正です。

災害協定を 結ぶべき

町民に
周知する



濱中町長

(主なもの)

- 6月6日 ライオンズクラブ主催の「ホテルの夕べ」が開催されました。
- 6月12日 瀬戸内国際芸術祭2016キックオフイベントが開催されました。
- 6月15日 郵便局との災害協定締結式を行いました。
- 6月17日 第1回まち・ひと・しごと創生推進会議が開催されました。
- 6月21日 コメづくりプロジェクト2015 コメの体験「田植え」が開催されました。
- 6月30日 第1回総合教育会議が開催されました。
- 7月2日 高齢者スポーツ大会を教育委員会と共催で開催しました。
- 7月5日 プレミアム付き商品券の販売を開始しました。
- 7月11日 町内一斉清掃“ごみ0クリーンデー”を実施しました。
- 8月1日 第30回「夏まつり」が開催され、大盛況のうちに終了しました。
- 8月8日 第14回「直島の火まつり」を開催し、多くの町民の方に楽しんでいただきました。
- 8月24日 エコアイランドなおしま推進委員会を開催しました。
- 8月29日 うい・らぶ・なおしまによる「なおしま自然探検隊」が開催され、町内外から55名の参加がありました。



積浦海岸クリーン作戦

主な質疑

人材の確保は

Q (中野) 町福祉有償運営協議会が開

催され事業がスタートする。サービスする人材は。

A (町長) 講習を受けて資格を取得する。福祉センターで十数人が資格を取得している

ので問題はない。

災害協定を結びべき

Q (小野) 郵便局と災害協定を締結したのは大事なこと。小売

店なども結んでは。

A (町長) 生協とは口頭で約束しているが、今後は文書での締結を考えていく。

雨水の対策を

Q (松島) 台風などの高潮は、防潮堤が整備されてきている

が、雨水など心配される。本村地区の対策は。

A (町長) 現在の石場ポンプ場での新設は無理なので能力アップを考えたい。

夏まつりを盛り上げて

Q (井下) 夏まつりは最高の人出を感じたが何か物足りない。

以前のようにはグララの上で太鼓をたたいては。

A (町長) 夏まつり実行委員会に諮ってみたい。

テロ対策をどうする

Q (浜口) G7情報通信大臣会合の説明を受けたが、テロ対策の説明はあったか。

A (町長) 説明のときは警察関係者は来ていない。大臣の宿泊はなくなったが、視察があれば警備は厳重になる。

防犯カメラは

Q (浜口) 町内の防犯カメラはどこに設置されているか。

A (町長) 個人が設置しているのは不明だが、海の駅と役場前に設置されている。

Q (浜口) 全国的にも防犯カメラは有効に活用されているので増設しては。

A (町長) 町内の現状を把握し、警察とも協議して取り組みたい。

町民会館の建設遅れは

Q (井下) 町民会館の建設が遅れているのをお詫びしたが、町民に対しては。

A (町長) 議会にお詫びしたが、町民に周知を検討したい。



原教育長

ご指摘の
とおりだ

いじめ問題 素直な対応を

主な質疑

テロなどの対策は

Q (中野) 中・高生の海外研修でテロなどの安全対策は。

A (教育長) イギリスなどで実施を考えているが、直島や県で勤めている方々が多くおられ、十分に連携を取り、計画を立てたい。

上手にカードを利用して

Q (中野) 英語の案内カード作成はいい

現地で「生」の英語に触れるのが主旨だ。具体的な結果は詳しくわかれば、お知らせする。

A (教育長) 既に役場内に置いている。

弁論大会と研修の関連は

Q (松島) 直中の女子生徒が英語の弁論大会に出ている映像を見たが、英語研修と弁論大会の関連は。また、その大会の具体的な情報は。

A (教育長) 直接的な関係はない。

統一できないか

Q (小林) 差別をなくし・人権を擁護する審議会と人権・同和教育推進協議会は同じような内容だが、ひとつに統一できないか。

A (教育長) 慣例に従うつもりはない。十分検討に値する。

話し合いの内容は

Q (小野) 幼児学園でのヒアリングの内容は。

A (教育長) 勤務上、何か困ったことなどないか聞いたが特にないようだった。

(主なもの)

- 6月11日 平成27年度町国際交流推進協議会が開かれ、新規事業として中・高生の海外研修の実施計画、「おもてなし English 練習会」等が提案されました。
- 6月23日 幼小中連絡会が開催され、自分から進んで“あいさつ”のできる子どもの育成について情報交換等を行いました。
- 7月10日 課長会で「おもてなし English」に関するアンケートの結果、役場職員・診療所職員の多くが英語での対応の必要性を感じていることを周知しました。
本年度は英語の案内カードを作成し、それを使った対応についての講習会の開催への協力依頼をしました。
- 8月5日 幼児学園でヒアリングを行い、要望等を聞くとともに来年度から移行予定の認定こども園について説明しました。
- 8月25日 幼小中連絡会が開催され、いじめ問題への対応について、平成27年度全国学力・学習状況調査の分析と今後の改善策作成等について依頼しました。
- ◎ 教育長報告の最後に4月21日に行われた全国学力・学習調査について次のように述べられました。
正答率(得点)での報告は控えさせていただきたい。子どもたちはそれぞれが個性を持っている。個性は極めて多様であり上下というものはない。一人ひとりの個性を大切にしながら、多様な可能性や生きる力を育てていく責務が学校にはある。そのための努力を今後とも続けていきたい。
4月の調査結果は現在詳しく分析し、今後の対応策を作成している。

万が一あれば素直に対応を

Q (小林) 最近、いじめ問題がテレビ等で多く出ている。直島の場合はないと理解しているが、万が一あれば素直に対応を願いたい。

A (教育長) ご指摘のとおりだ。そのように対応したい。



仲良く遊んでね!

一般質問

町民会館で伝統芸能サミットを

〔町長〕 まず1度開催してみたい

〔教育長〕 前向きに検討を進める



井下 良雄 議員

多くの人々に感動を与えている。

そこで、11月末の町民会館完成を機に、県内外各地の伝統芸能を集結し「伝統芸能直島サミット」なるものを開催してはどうか。

直島の伝統芸能といえ「女文楽」と「つつじ太鼓」が二枚看板。どちらも町内外で公演する等の活動がなされており、

そして定期化することで、アートだけじゃない直島の伝統芸能や新直島

建築「町民会館」を広く情報発信できると考える。

〔町長〕 「女文楽」と「つつじ太鼓」とも直島を代表する芸能

だ。町民会館は設計段階から文楽をやるよう考えており、条件は揃っている。

まず1度開催してみたい。

〔教育長〕 「女文楽」と「つつじ太鼓」

は直島の芸能で大きな位置。サミットを開催することで大きなやりがいを感じている。



息の合うデコと浄瑠璃

感じるし、士気の高揚や後継者の育成にも期待が持てる。

実現に向け両団体の意向や予算化等課題があるが、前向きに検討を進める。

観光案内所と案内板を

〔町長〕 海の駅に観光案内所の設置と、宮ノ浦地区に案内板の増設を。

〔町長〕 海の駅はいろいろと制約がある。案内所を示す仮設の看板を置き対応する。

宮ノ浦地区の案内板は効果的な場所に増設を検討しているようだ。

なお、宮浦ギャラリー六区の中に設置を検討しているようだ。

討する。

宮ノ浦公園にトイレを

〔町長〕 現在、宮ノ浦公園にはトイレがない。幼児学園児の母親たちから、トイレ設置の要望がある。

〔町長〕 新設及び維持管理等に費用がかかる。ふれあい診療所のトイレを利用していただきたい。

〔町長〕 新設及び維持管理等に費用がかかる。ふれあい診療所のトイレを利用していただきたい。

〔町長〕 新設及び維持管理等に費用がかかる。ふれあい診療所のトイレを利用していただきたい。

イノシシの被害対策は

〔町長〕 粘り強く数を減らしていく



西岡 裕喜広 議員

り、まだ人への被害が出ていないのが救いだが、高齢者や子どもが遭遇したらと思うと怖いことだ。町民の身近な有害鳥獣被害対策をどう考えているのか。

〔町長〕 本町の有害鳥獣は、かつてはタヌキやカラスの被害が中心だったが、ここ数年

ここ数年イノシシによる農作物への被害等の話を町民の方より聞く。町内のあちこちでイノシシが目撃されてお

〔町長〕 本町の有害鳥獣は、かつてはタヌキやカラスの被害が中心だったが、ここ数年

年はイノシシ対策を何とかしてもらいたいと要望が急が増えてきている。対策としては、「箱わな」や「くくりわな」を

狩猟免許所持者に貸し出して、現在までにこの方法で7頭を駆除した。

現在、町内で銃の免許所持者が2名、わな猟の免許所持者が3名という状況なので、狩猟免許の取得や更新に対する補助制度をつくり、免許所持者を増やしていきたいと

〔町長〕 日中も活動するが、臆病な動物だと認識している。

〔町長〕 日中も活動するが、臆病な動物だと認識している。

考えている。

それとともに、民間法人に委託して駆除できないか検討しているが、近県に認定事業者がいない状況である。

今後とも香川県等との連絡を密にして、有効な対策を検討していきたい。

〔町長〕 イノシシの生態や特性をどの程度把握しているのか。

〔町長〕 日中も活動するが、臆病な動物だと認識している。



イノシシ捕獲用箱わな

〔町長〕 イノシシは、嗅覚が犬と同等であり、聴覚も発達している。防止対策として、畑の周囲に唐がらしを植えたり、人の髪の毛をぶら下げただけで、被害防止ができる実例がある。

このような被害防止対策を、町民に周知してはどうか。

〔町長〕 検討して、有効なもの周知する。

〔町長〕 検討して、有効なもの周知する。

〔町長〕 検討して、有効なもの周知する。

〔町長〕 役割分担で進める
地方創生特区の申請



松島 俊雄 議員

東京都は都下島しょ部を対象に地方創生特区として「焼耐特区」の申請を検討していると聞く。当町は現代アートの聖

A 地として認知されている。この特性を更に活用すべく「現代アート特区」としてあらゆる可能性を求めてはどうか。
アーティストの卵育成事業など取り組んでは。人口増加対策にも繋がると考えるが。

（町長） 地方創生特区とは地方創生に向けた取り組みの一環。地域を絞って規制を緩める国家戦略特区の中で、地方の新規産業や雇用創出をめざすもの。本町は都市計画等の規制もなく規制緩和の対象とならないので特に指定の必要はない。育成事業についてはベネッセや財団と協力して行政が役割分担すべき点について進めたい。

アートセトウチ2015夏
なぜ不参加か

7月26日から9月6日の間開催された同展は、豊島・女木島・男木島・本島・伊吹島・宇野が参加した。直島はなぜ参加しなかったのか。
ベネッセ効果で最も集客力の高い本町の参加はアーティスト育成の意味からも大きな力となるのではないかと。ベネッセへの依存だけでなく、地域

としての積極的な取り組みが今後の更なる島興しに必要ではないか。
（町長） このイベントは県の「瀬戸内国際芸術祭実行委員会」が主体。本町は宮浦の「直島パヴィリオン」の完成に伴い、春のイベントとして3月23日から4月19日の間「直島町の28番目の島」というコンセプトでパネル展を開催した。
今夏は宮浦ギャラリー



28番目の島パヴィリオン

六区で若手のイベント。秋も片山真理さんのイベントを予定。若手アーティストの育成も兼ねる。



完成した横防家族用住宅

追跡 あれ、どんなってん!

このコーナーは、議員が以前に一般質問や委員会などで質問した問題が、その後どうなっているかを追跡してお知らせします。

町営住宅建築、前向きに

今まで、人口増加対策の一環として町営住宅不足の問題を再々当局に提案してきました。

答 弁

- 子どもの人数を増やすには町内で就職し、結婚してもらう、その住む家が不可欠だ
(平成26年6月 町長所信表明)
- 住宅確保は喫緊の課題だ
(平成26年6月 浜口議員へ)
- 住宅はまだ不足していると認識しているので今後も積極的にやっていく
(平成27年3月 井下議員へ)

経 過

宮ノ浦・横防地区に単身者や家族用の住宅を建築したが、まだ足りない。
現在、結婚しても島内に家がなく仕方なく玉野市に住んでいる人がいる。
ほんの少し土地は確保しているということだが、“家”はあるので直島に住んで下さいという前向きな考えが必要であり、今後も議会として提案していきたい。

日、9月4日の4日間、各課から現状・今後の予を交わしました。

人口ビジョンを策定中



松島 俊雄 委員長

〔総務課〕

災害時協定郵便局と

○6月15日 被災者に対する無償サービスなど災害時の非常取り扱いなど

台風11号対応

○7月17日 避難所設置 5カ所 9人避難

消防団夏季訓練

○7月21日 消防団員 87人 婦人防火クラブ 13人

町職員採用試験

○7月26日 4人応募
Q 応募者の出身地は。

A 県内3人、県外1人、高卒応募なし。
〔まちづくり観光課〕

出会い隊パーティー

○7月4日～5日 「カップリング in 直島」開催。男性17人（全員町内）、女性16人（東京・

三重・京都と岡山・香川

直島夏まつり

○8月1日 900人参加

直島の火まつり

○8月8日 2000人参加（最高の人出）

直島町の将来を決める 総合戦略提案

○「まち・ひと・しごと創生法」の成立

直島町でも「直島町総合戦略」を策定 期間は平成27年度から5年

○「直島町人口ビジョン」を策定中。期間は2015年から2060年

○「地方創生に関するアンケート」実施
・住民アンケート調査 1000人対象 有効回収388人
・中学生アンケート調査 70人対象 有効回収65人 期間5・6月

〔教育委員会〕

幼児学園が認定

こども園へ移行

○国の制度創設で来年4月1日より「認定こども園」に移行するが現状の変更はない。

フレンドルールの

利用状況

○利用者は通常 21人 夏休みのみ利用 8人

子供会夏休みプール

○期間中10日間の開放 延べ308人が参加



踊らにゃ そんそん!

活性化対策特別

豊島廃棄物

受け入れ4条件の

再確認をうながす

酸素富化により

処理量を増やす



浜口 敏夫 委員長

8月18日、香川県から川田環境森林部長ほか、町から濱中町長、担当課長ほかが出席し、委員会



処理状況の説明を受ける

8月4日・19日・24
合同常任委員会を開催し
定等の報告を受け、議論
主なもののみ報告しま

町民会館 完成遅れる



石川 知久 委員長

「ふれあい診療所」

○診療状況

(平成27年4月～7月)

①外来患者 5127人

(一日平均60・2人)

②入院患者 889人

(一日平均7・3人)

③病床稼働率 38・3%

(委員から) 最近、外国

人の患者が増加傾向なの

で、タブレット端末を購

入し、翻訳機能を導入し

てはどうかとの意見があ

りました。

〔建設経済課〕

地元説明会を実施

○6月24日 積浦漁港高

潮対策工事の地元説明

会を実施した。

町民会館の完成遅れる

○町民会館新築工事の完

成が遅れ、11月中旬頃

になる予定。

Q 生協北側の県道
拡幅工事の将来計

画の見通しは。

A 保安林解除の手
続きが終了すれ

ば、引き続き進めていく
予定である。

Q 小・中学校の太
陽光発電設置工事

の工期が12月21日となっ

ているが、騒音などで授

業に支障はないのか。

A 夏休み中に行う

予定であったが、

遅れている。学校と協議

し支障のないように進め

ていく。

〔住民福祉課〕

特定健診を実施

○6月13・14日 特定健

診を実施、234人が

受診した。

キャンペーンを実施

○8月1日 同

和問題啓発強

調月間に伴

い、生協本店

で街頭キャン

ペーンを実施

した。

〔環境水道課〕
多量のゴミ
を回収

○7月11日 町

内一斉清掃

「ごみ0ク

「リーンデー」を実施し、
参加者500人、ゴミ
4.2トンを回収した。

浸水対策調査を協議

○町内の浸水対策につい

て、本村、積浦、宮ノ

浦、横防について、案

が示され協議しました。

(委員から) 宮ノ浦地区

については、「建屋の位

置など、もう少し検討が

必要だ」などの意見があ

りました。

その後、工事中の町民

会館新築工事などを視察

しました。



建設中の町民会館内を視察

が開催されました。

川田部長からは「平成

15年9月処理開始以来12

年が終わる。これまで累

計で76万5千トン余り、

85%の処理が終わってい

る。処理量アップのため

検討をしていた溶融炉の

酸素量を増やし燃焼効率

を上げる酸素富化の実施

を行う。残すところ1年

半、安全と環境保全を第

一に処理を進めていく。」

との発言がありました。

その後、豊島廃棄物処

理事業の実施状況・処理

対象量と残存量の推計に

ついて県担当者から説明

を受けました。

(主な質疑)

Q 酸素量を上げる

と炉内温度が上が

り耐火煉瓦の損傷が今ま

でより大きくなると思っ

が対策は。

A 温度や熔損状態
を管理しながら投

入する酸素量を管理して

いく。

Q 酸素富化により

燃料使用量はどの

程度の減少が見込めるか。

A 約2割を想定し
ている。

Q 処理完了後の施

設の利用について

は早く協議を進めてほし

い。

A 有効利用を前提

に関係者と協議中

であるが、まだ煮詰まっ

ていない。

など活発に意見が交わ

されました。

最後に委員長から、豊

島廃棄物受け入れの4条

件を再確認し、最後まで

緊張感をもって進めるこ

とを要望し閉会しました。

議会を傍聴しませんか

次の議会定例会は、12月に開催され
ます。

傍聴の手続きは、役場3階議場内の傍聴席
受付で住所・氏名等を記入するだけです。

議会事務局 (☎892-2297)



さあ出荷だ



水川和明さん

戸海はヨッ海はヨッ汐の香に引きよせられ、今回も積浦漁港にやってきました。前回登場いただいた近藤さん、伊藤さんに続いて、水川和明さんの登

場です。

Q 水川さん、今日はよろしくお願ひします。さつそくですが、いつ直島に來られ

ましたか。

A 出身は

岡山県で

す。直島に

來たのは一

昨年11月

です。Q 水川さんも水産会社

で働かれて

いますね。その動機は。

A 生き物が好きで、食べることも好きなので、ここで働こうかと思ひました。

Q 主にどんな仕事をしていますか。内容を教えてください。

A ハマチ・カンパチ・

鯛の餌やりをしています。

Q 直島に住まれての印象は。

A とても静かでのんびりとしていて、とても住みやすいですね。

Q 休みの時は何をされていますか。趣味ややりたいことは。

A 実家が岡山県なので、帰るついでに友達と飲みに行きます。あとは、

フォーム。

Q 水川さんは独身ですよ。町では「直島出会

い隊」という婚活イベントを行っています。ぜひ参加してください。

A 間に合っています。

Q 最後に、今後の目標や将来像を語ってください。

A とりあえず、今の仕事を早く覚えて会社の役

に立てるようにがんばっていきなさい。

水川さん、今日はお忙しいところありがとうございました。

若さいっぱいでお仕事をがんばってください。活躍を期待しています。

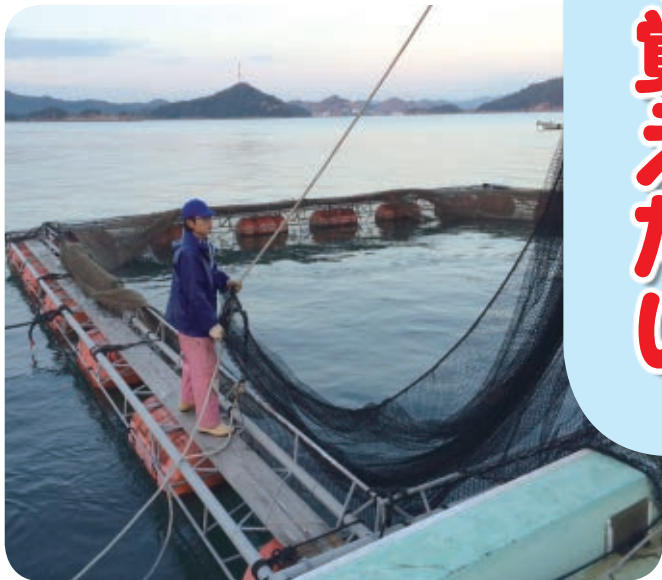
早く仕事を覚えたい

のんびりと買い物とかです。

Q 現在、町と議会では人口増加対策に力を入れており、公営住宅建設や

空き家・空き地の活用を検討中です。何か良い考えやご意見があれば教えてください。

A 空き家・空き地をアート場へと場所を提供？ 公共住宅はリ



ただ今作業中

編集後記

急ぐべし！行くの

国会で安保法案が可決されました。

アメリカの戦争に巻き込まれるのではないかと反対運動が起こっています。

この法律の集団的自衛権を行使できる日本の存立と国民の権利が危うくなると判断される場合はあまりにもわかりにくく、国民の理解はまだまだです。

北朝鮮や中国などの周辺国に対する脅威に、日本一国だけで対抗するのは不可能だといふこともわかりません。でも、そんなに急いでどこに行くの。みなさんどう思いますか。(浜口記)

議会広報編集特別委員会

議長 蓬 清二

委員長 井下 良雄

副委員長 石川 知久

委員 西岡裕喜広

委員 浜口 敏夫

委員 小野 孝一

委員 丸山 義朗

委員 小林 眞一